



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

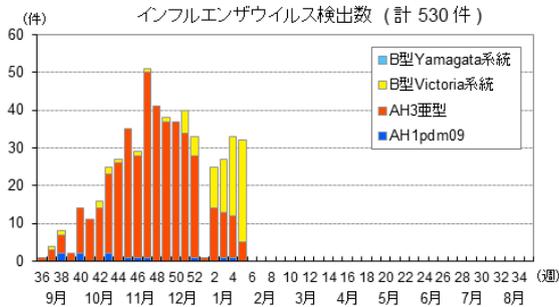
3月：弥生（やよい）

3月3日は桃の節句です。春の気配があらこちらで観られますね。花粉もだいふ飛んで花粉症の患者さんが多く受診されています。3月20日は春分の日、昼と夜の長さが同じになります。今年は温かい日が多く桜が早く咲きそうです。

～インフルエンザについて～

インフルエンザはお正月にいったん収束かと思われました。しかし、今年5週目に入って東京都で警報レベルに再上昇しました。東京都、福生市周辺ではB型が主流です（下図定点報告数グラフの黄色がB型、オレンジ色がA型です）。

B型インフルエンザは重症化することは稀です。軽症の方が多く、風邪と区別が付きにくいですが、嘔吐や下痢が出やすいです。抗インフルエンザ薬が無くて自然に軽快しますが、お薬を使うと発熱期間が1日短縮する効果があると言われていいます。発熱が長引くこともあります。学校感染症法に従って毎日お熱を測って出席停止期間を守りましょう。



熱せん妄（ねつせんもう）について

小さい子どもやお年寄りが高熱が出ると熱せん妄を起こすことがあります。熱せん妄とは、高熱の際に一時的にみられる意識の変容や異常行動を言います。具体的には、見えないものが見えると言ったり、意味のない行動を取ったりします。数分から30分以内に収まることが多く、けいれんを伴うことはほとんどありません。インフルエンザは特にせん妄を起こしやすいウイルスです。異常な行動を取る時は、怪我をしないよう見守りましょう。30分以上続く、何度も繰り返す、悪化する、けいれんを伴う時は脳炎や脳症かもしれません。脳炎・脳症を疑う時には救急車を呼ぶか救急外来を受診しましょう。

～感染性胃腸炎ついて～

毎年冬季に流行している感染性胃腸炎ですが、東京都感染症情報センターによると、集団感染は1月にピークアウトしました。とはいえ、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルス性胃腸炎は一度罹患しても終生免疫は得られません。毎冬罹ってしまう人もいます。年長児でや成人は入院するほどの胃腸炎になる事は稀ですが、身体の小さい乳児では、脱水症状が重く入院で点滴治療をしなければならない事もあります。乳児では一見元気そうに見えても軽い脱水症になっている事があり、注意が必要です。食欲低下や嘔吐、下痢がみられたら胃腸炎かもしれませんので、経口補水液などで脱水症対策をして、悪化しないよう見ていきましょう。

♡ 令和8年度病児保育室利用登録のご案内♡

新年度は利用登録書が更新になります。令和7年度以前にご利用いただいた方も、令和8年4月以降の初回利用は利用申込書のほかに登録書をお願いしております。事前登録も可能ですが、利用当日でも構いません。

表：2月しみず小児科・内科クリニック
で診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	インフルエンザ B 型	323
2	胃腸炎(加 16 呷 1 含む)	167
3	溶連菌 (ようれんきん)	121
4	インフルエンザ A 型	21
5	咽頭アデノウイルス	10
6	新型コロナウイルス	8
7	とびひ(伝染性膿痂疹)	5
8	RS ウイルス	2
8	ヒトメタニューモウイルス	2
10	突発性発疹	1

あんず通信パツパツはクリニック
ホームページからご覧になれます

～あんずからのお願い～

★空き状況は Web で

ホームページから確認出来ます。ご予約は前日または当日必ずお電話で(042-513-4158)お願い致します。

📍 空き状況はこちらから



★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので当日 8:30 までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた病名によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病名(感染症)のお子様と同じお部屋にすることで、子ども同士の感染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等を聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後、必要に応じて医師が診察をします。医療証と資格確認書又はマイナンバーカードをお持ちください。どちらもお持ちでない場合、マイナ保険証の場合はスマホでマイナポータルのページを確認させていただきます。

～病児保育室あんず求人のお知らせ～

引き続き午前パートの保育士さんを探しています。詳細はホームページまたは求人サイトをご覧ください。

